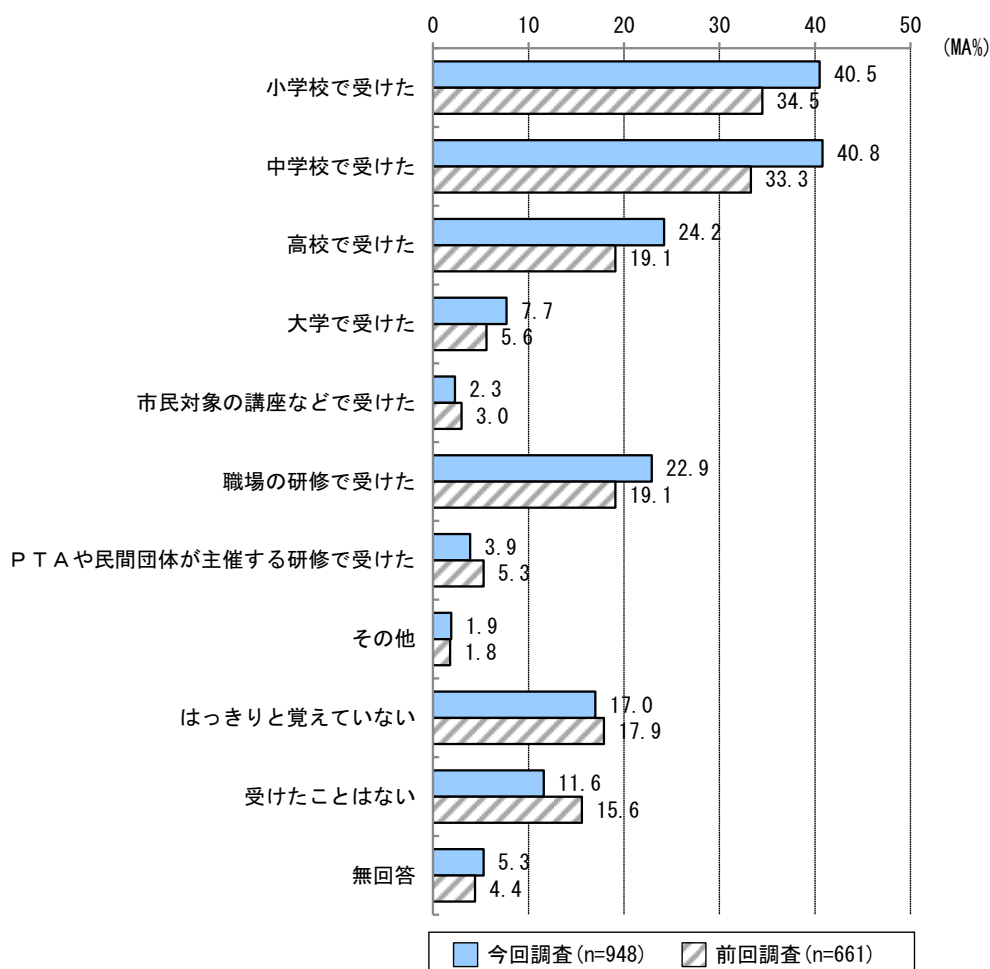


4. 人権を学ぶための機会について

(1) 人権問題についての学習経験

問15 あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。(〇はいくつでも)

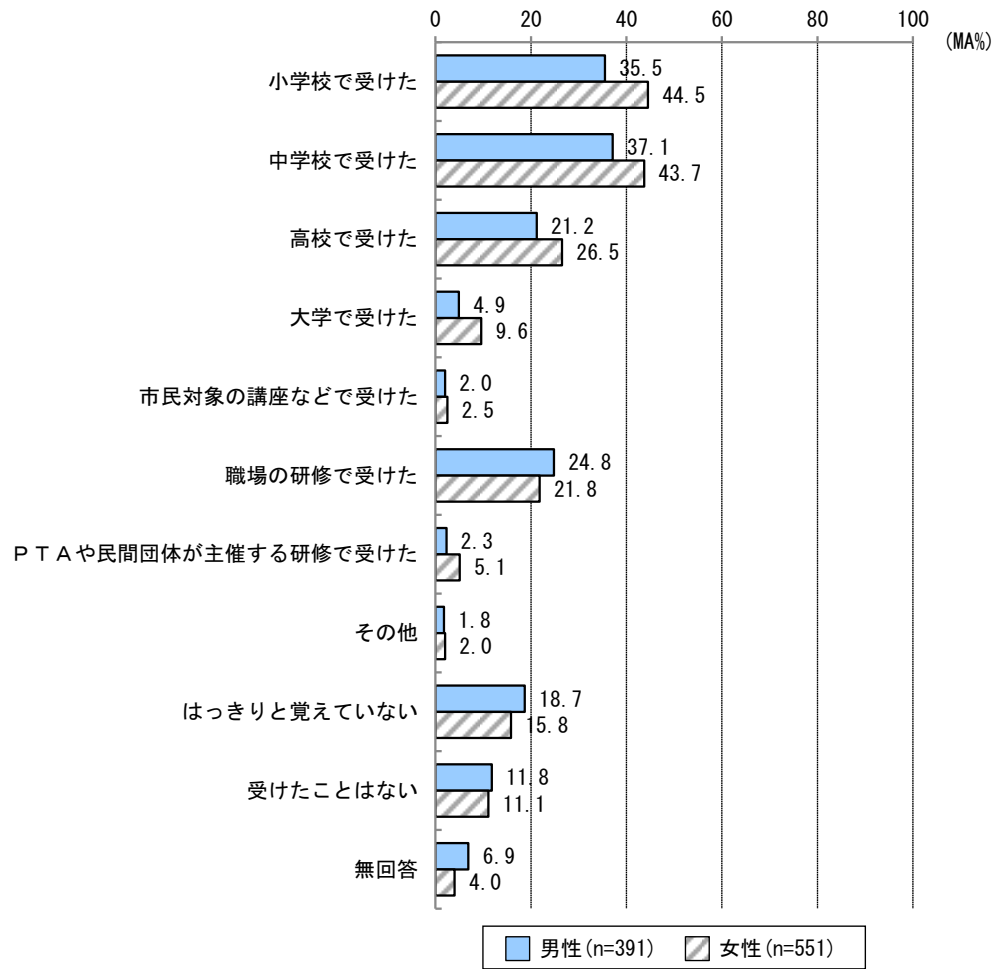
【図4-1 人権問題についての学習経験（経年比較）】



人権問題についての学習を経験したことについて、「中学校で受けた」が40.8%で最も多く、次いで「小学校で受けた」が40.5%、「高校で受けた」が24.2%となっています。

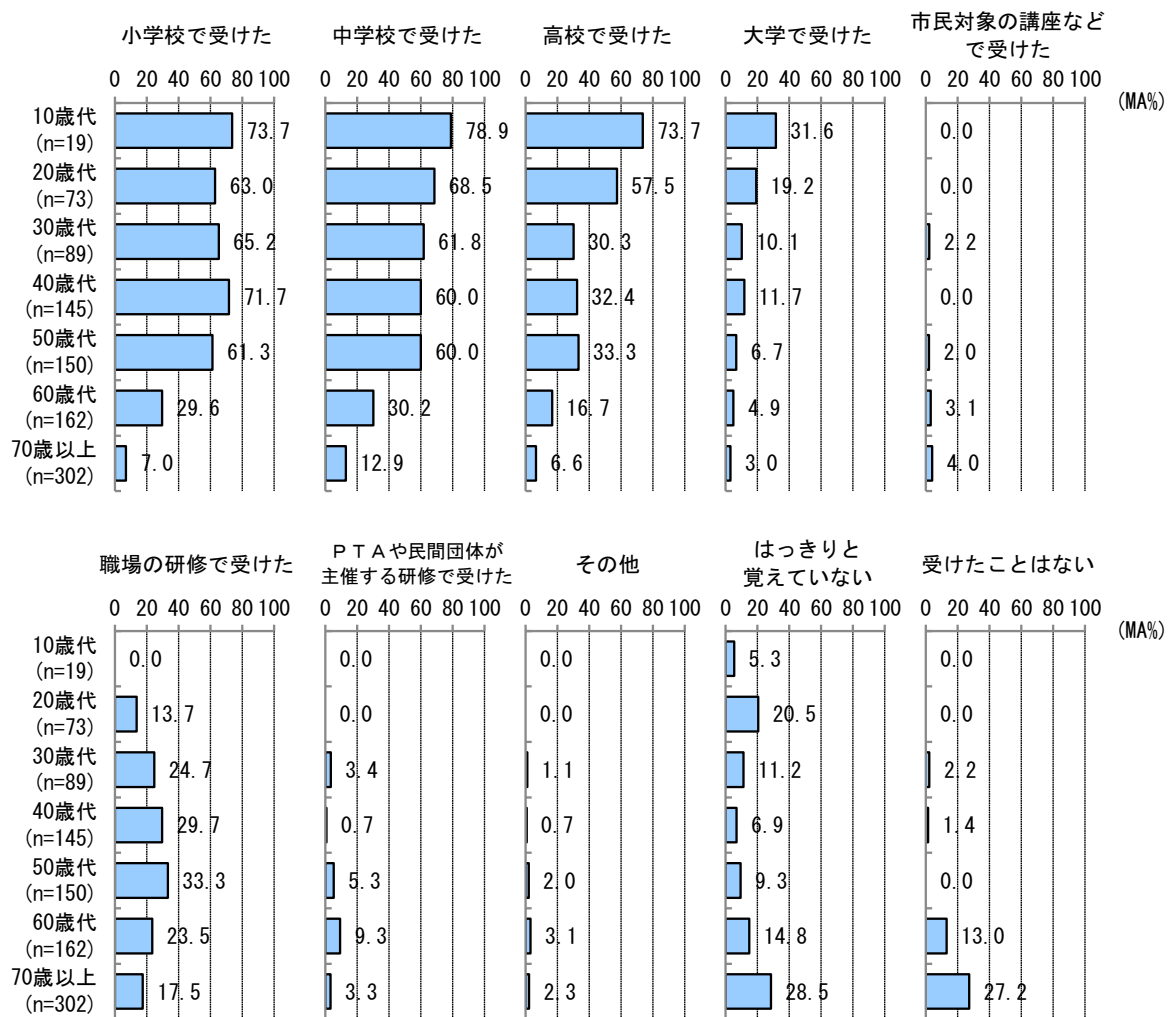
前回調査と比較すると、「中学校で受けた」が7.5ポイント、「小学校で受けた」が6.0ポイント、「高校で受けた」が5.1ポイント、「職場の研修で受けた」が3.8ポイント高くなっています。なお、「受けたことはない」は4.0ポイント低くなっています。(図4-1)

【図4-1-1 人権問題についての学習経験（性別）】



性別でみると、男女とも「小学校で受けた」と「中学校で受けた」が上位2項目となっています。これに続いて、男性は「職場の研修で受けた」が24.8%、女性は「高校で受けた」が26.5%となっています。（図4-1-1）

【図4-1-2 人権問題についての学習経験（年代別）】



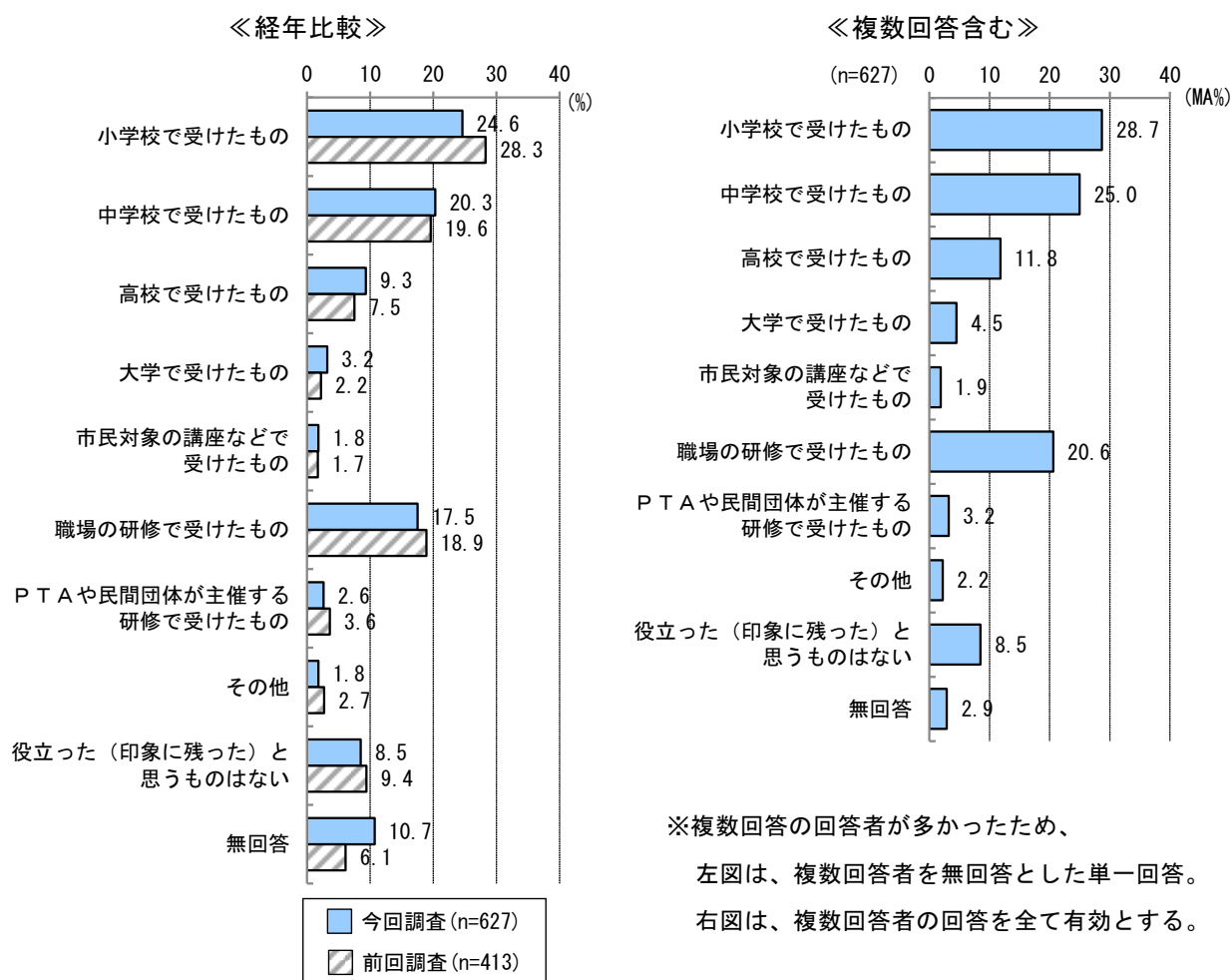
年代別でみると、60歳未満の各年代では「小学校で受けた」や「中学校で受けた」、「高校で受けた」の割合が高い傾向にあり、60歳以降になると「はっきりと覚えていない」と「受けたことはない」の割合が高くなっています。また、40歳代と50歳代では「職場の研修で受けた」が、それぞれ29.7%、33.3%となっており、他の年代と比べて5ポイント以上高い割合になっています。（図4-1-2）

(2) 人権意識を高めるうえで特に役に立った学習経験

問15－1 問15で「1～8」のいずれかの学習経験を選ばれた方

その中で、あなたの人権意識を高めるうえで特に役に立った（いちばん印象に残っている）ものはどれですか。（ひとつに○）

【図4-2 人権意識を高めるうえで特に役に立った学習経験】

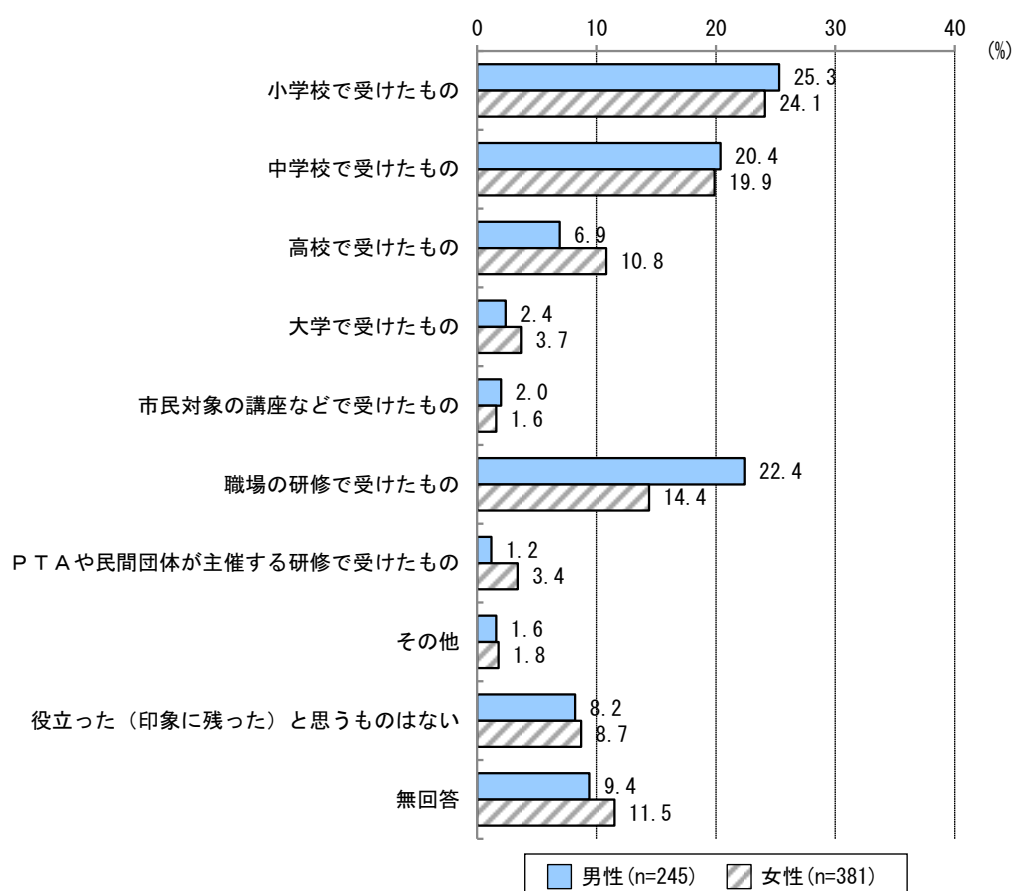


人権問題についての学習を経験したことがあると回答した人に、人権意識を高めるうえで特に役に立ったものをたずねると、「小学校で受けたもの」が24.6%で最も多く、次いで「中学校で受けたもの」が20.3%、「職場の研修で受けたもの」が17.5%となっています。

また、複数回答者の回答を全て有効とした場合でも、単一回答の結果と傾向はほぼ変わりませんが、「小学校で受けたもの」は28.7%、「中学校で受けたもの」は25.0%、「職場の研修で受けたもの」は20.6%となっています。

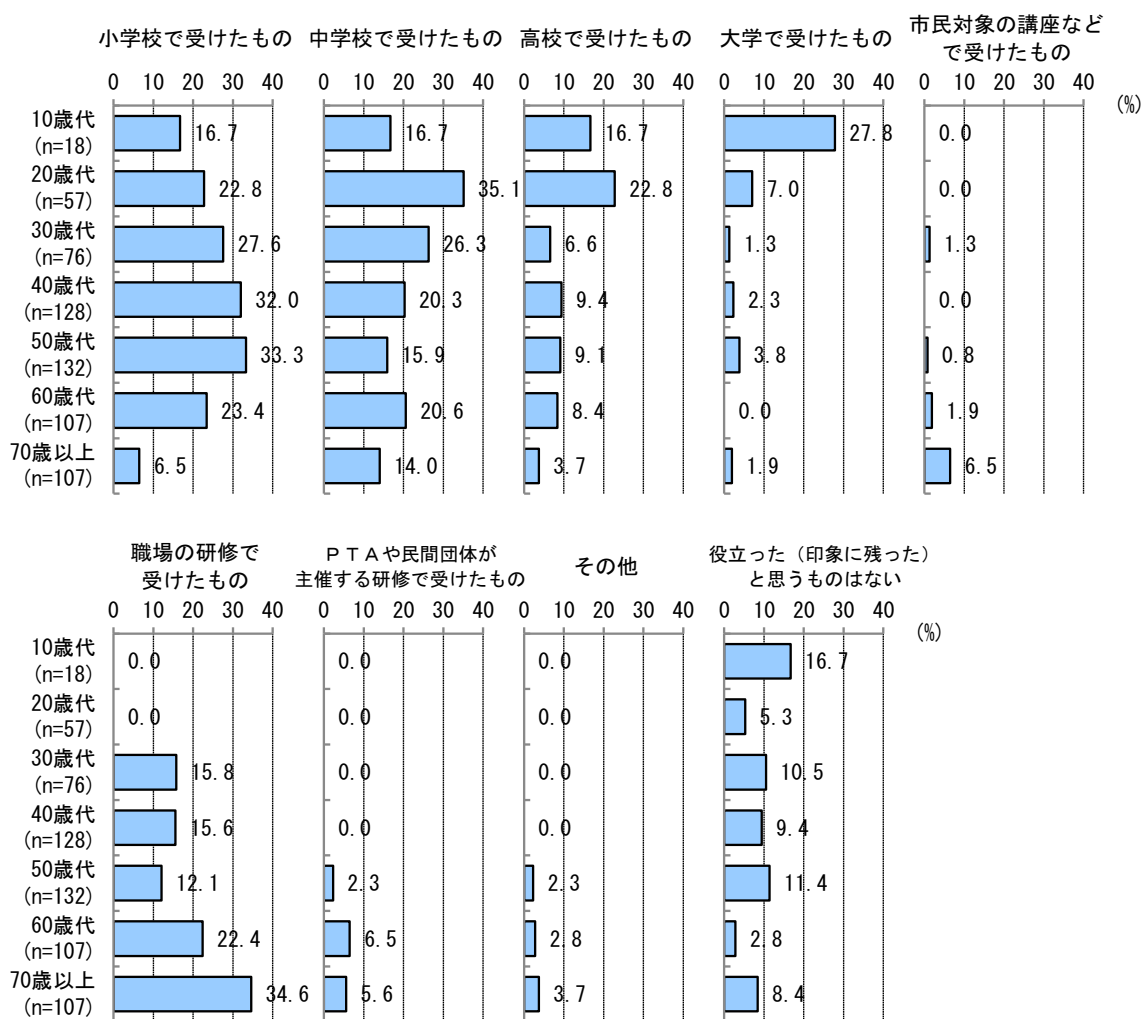
前回調査と比較すると、「小学校で受けたもの」は3.7ポイント低くなっています。（図4-2）

【図4-2-1 人権意識を高めるうえで特に役に立った学習経験（性別）：単一回答】



性別でみると、男女とも「小学校で受けたもの」と「中学校で受けたもの」が多くなっています。また、男性では「職場の研修で受けたもの」が22.4%で女性（14.4%）と比べて8.0ポイント高い割合になっています。（図4-2-1）

【図4-2-2 人権意識を高めるうえで特に役に立った学習経験（年代別）：単一回答】



年代別でみると、年代間で比較的高い項目として、20歳代は「中学校で受けたもの」と「高校で受けたもの」、40歳代と50歳代は「小学校で受けたもの」、60歳代と70歳以上は「職場の研修で受けたもの」が、それぞれ割合の高い傾向がみられます。（図4-2-2）

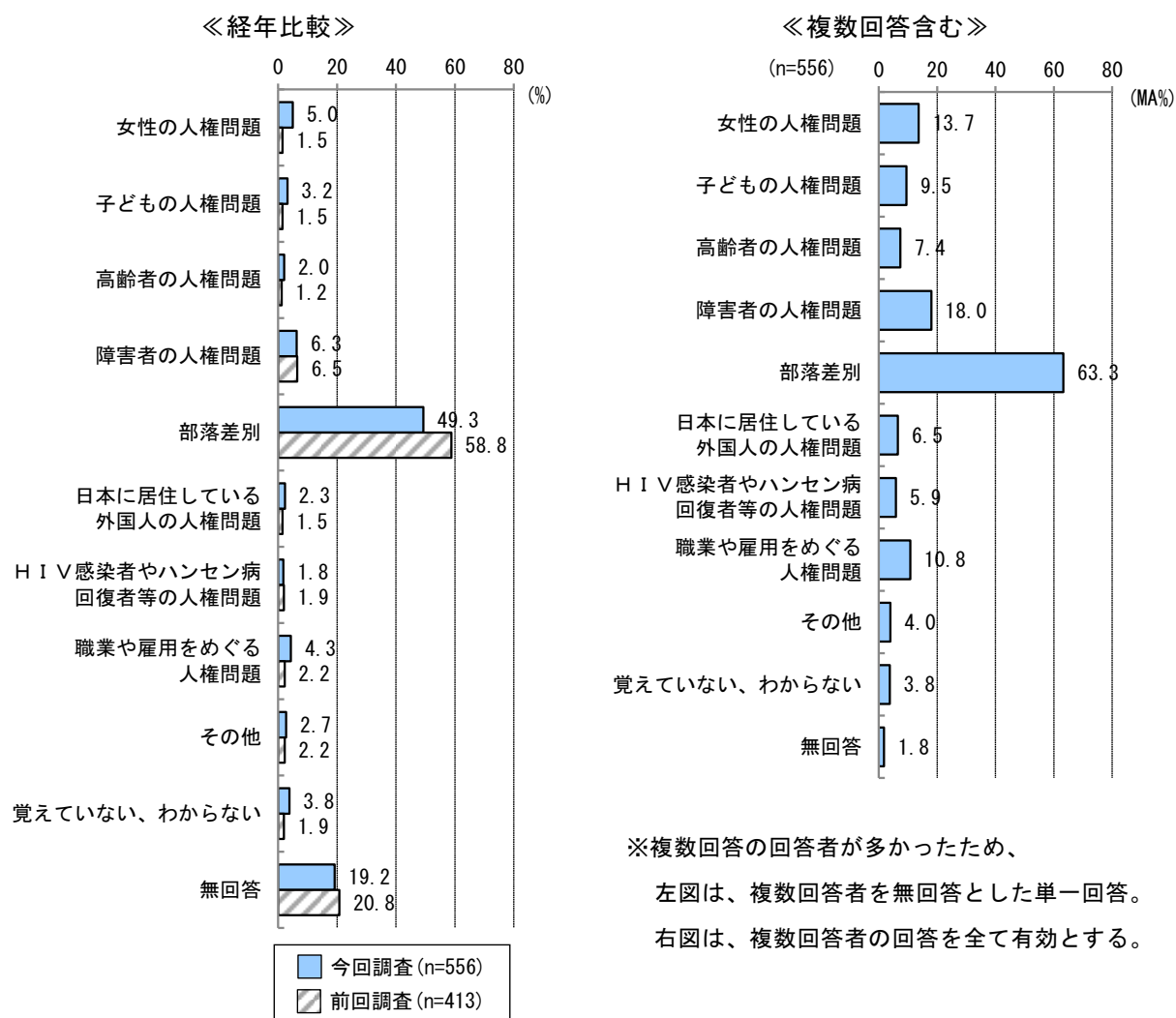
(3) 人権意識を高めるうえで特に役に立った学習経験の分野と形式

① 印象に残っている人権問題の分野

問15-2 問15-1で「1～8」のいずれかの学習経験を選ばれた方

それは、どのような分野でしたか。また、どのような形式でしたか。それぞれについてお答えください。(それぞれ○はひとつ)

【図4-3① 印象に残っている人権問題の分野】



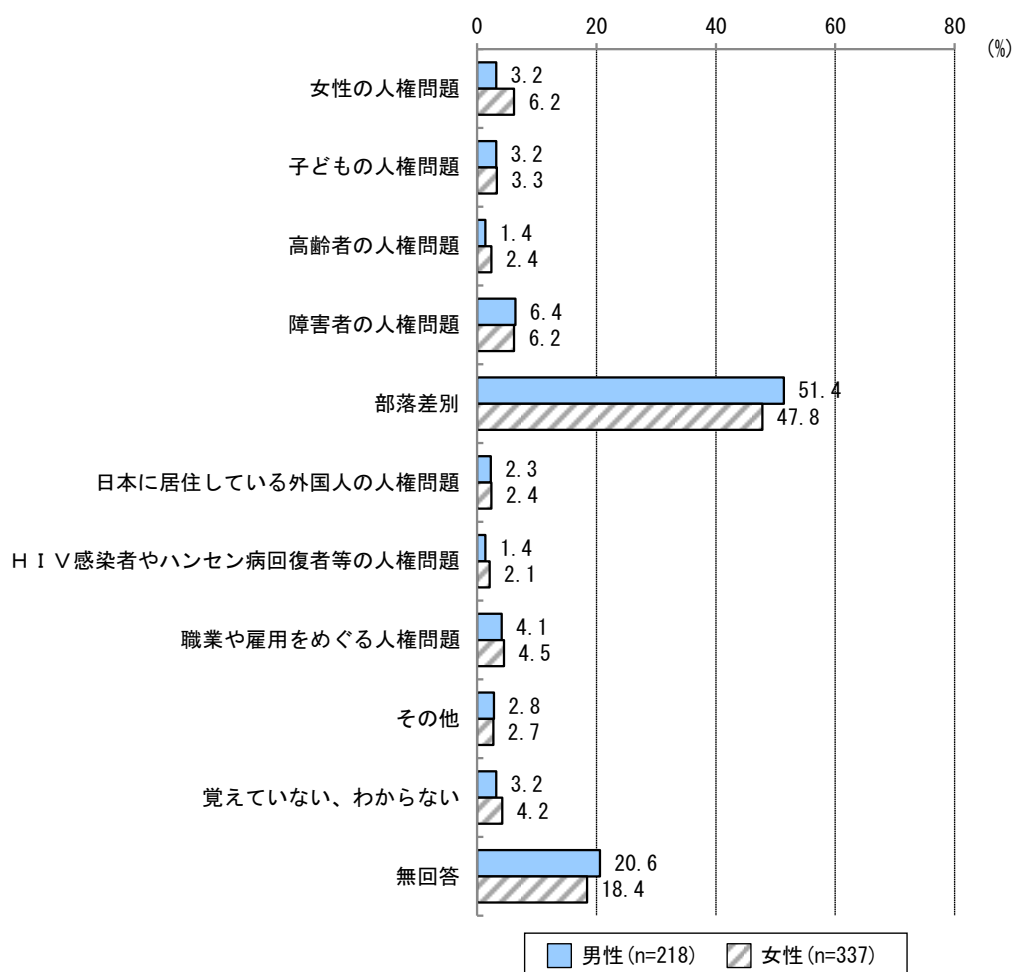
※前回調査の「同和問題」を、今回調査の「部落差別」とする。

人権意識を高めるうえで特に役に立った(いちばん印象に残った)学習経験があると回答した人に、印象に残っている人権問題の分野をたずねると、「部落差別」が49.3%で最も多く、次いで「障害者の人権問題」が6.3%、「女性の人権問題」が5.0%となっています。

また、複数回答者の回答を全て有効とした場合でも、単一回答の結果と傾向はほぼ変わりませんが、「部落差別」は63.3%、「障害者の人権問題」は18.0%、「女性の人権問題」は13.7%となっています。

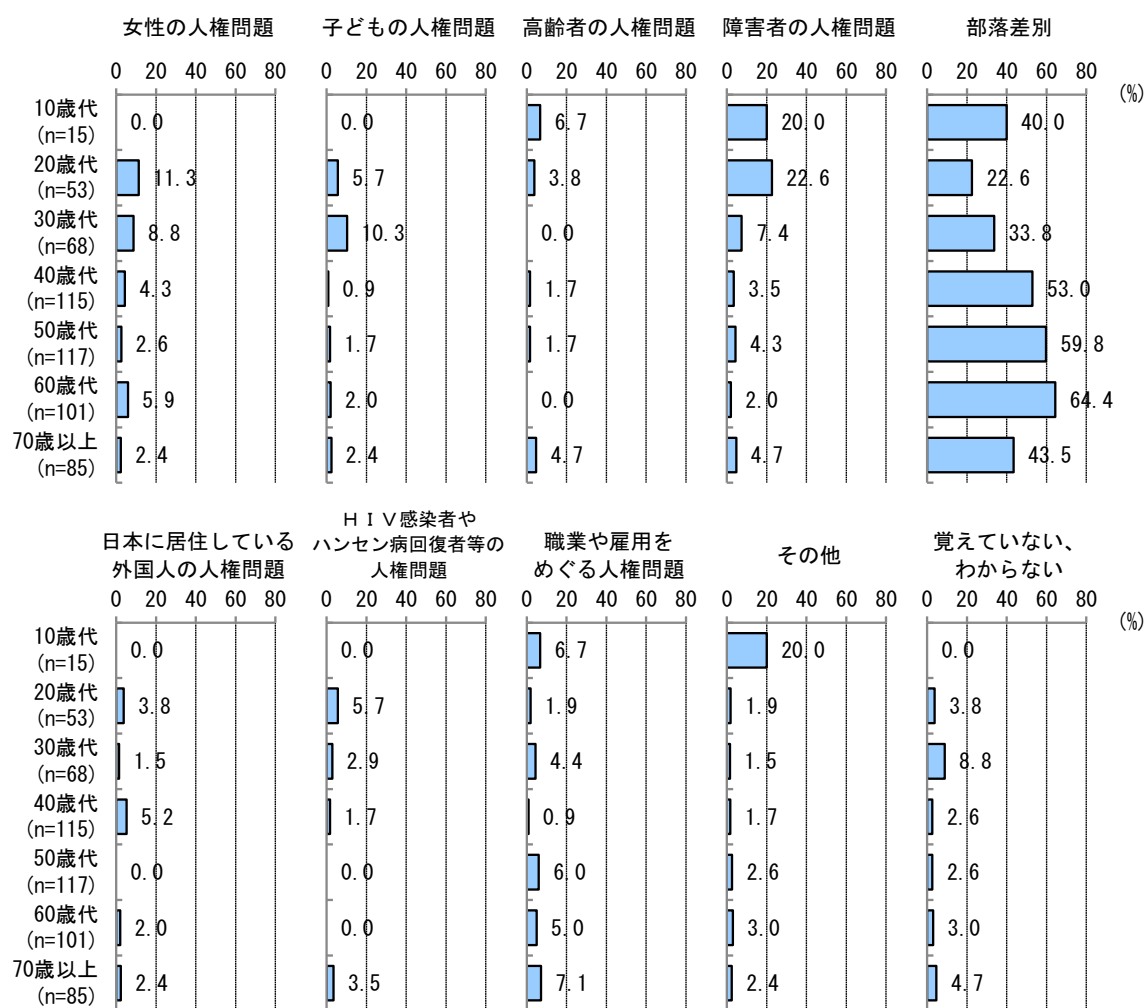
前回調査と比較すると、「部落差別(前回調査では「同和問題」)」は9.5ポイント低くなっており、「女性の人権問題」が3.5ポイント高くなっています。(図4-3①)

【図4-3①-1 印象に残っている人権問題の分野（性別）：単一回答】



性別でみると、男女とも「部落差別」が最も多く、男性は51.4%、女性は47.8%となっており、男性のほうが3.6ポイント高い割合になっています。（図4-3①-1）

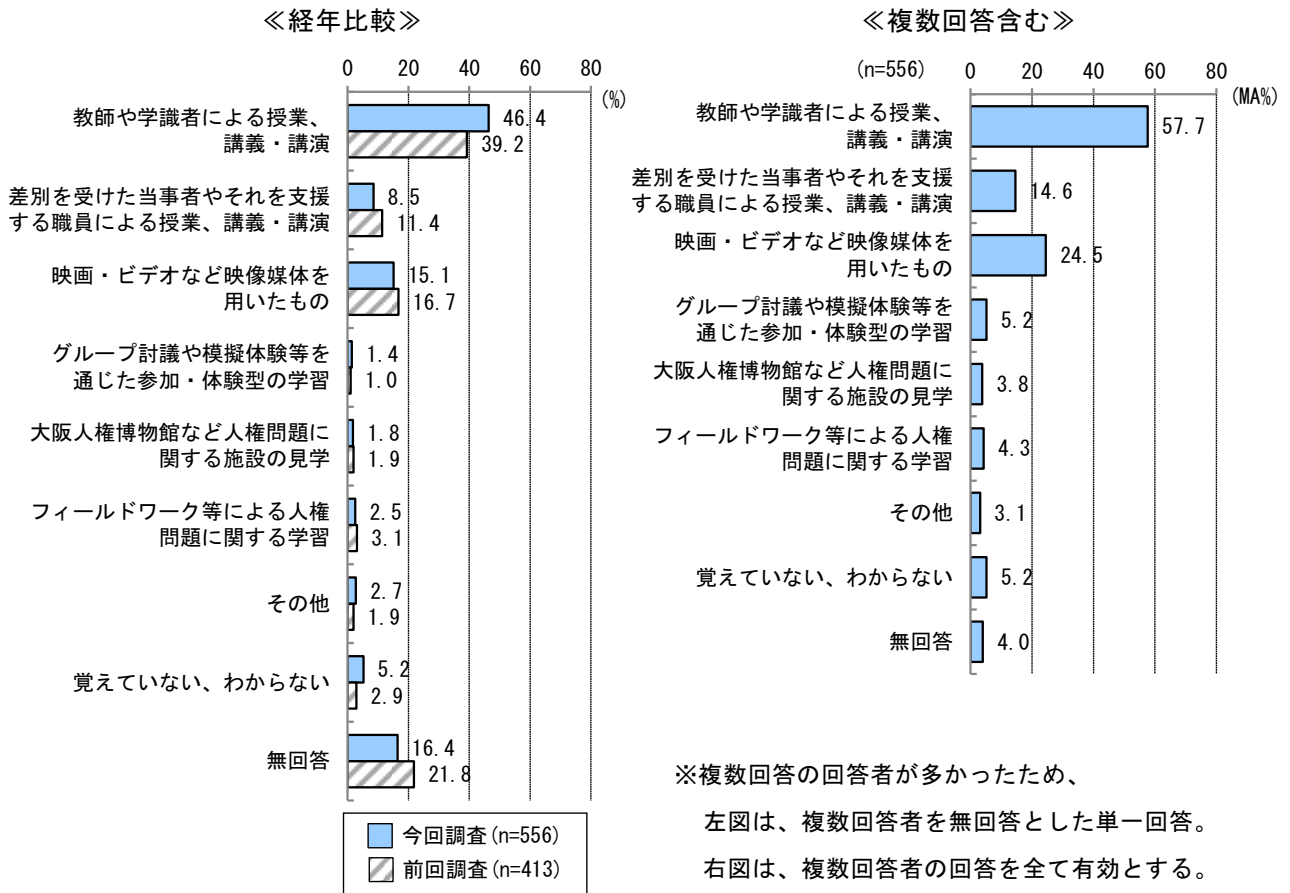
【図4-3①-2 印象に残っている人権問題の分野（年代別）：単一回答】



年代別でみると、いずれの年代も「部落差別」が最も多くなっており、若い年代ほど割合が低くなる傾向にあります。また、20歳代では「障害者の人権問題」が他の年代と比べて高い割合になっています。（図4-3①-2）

② 学習の形式

【図4-3② 学習の形式】

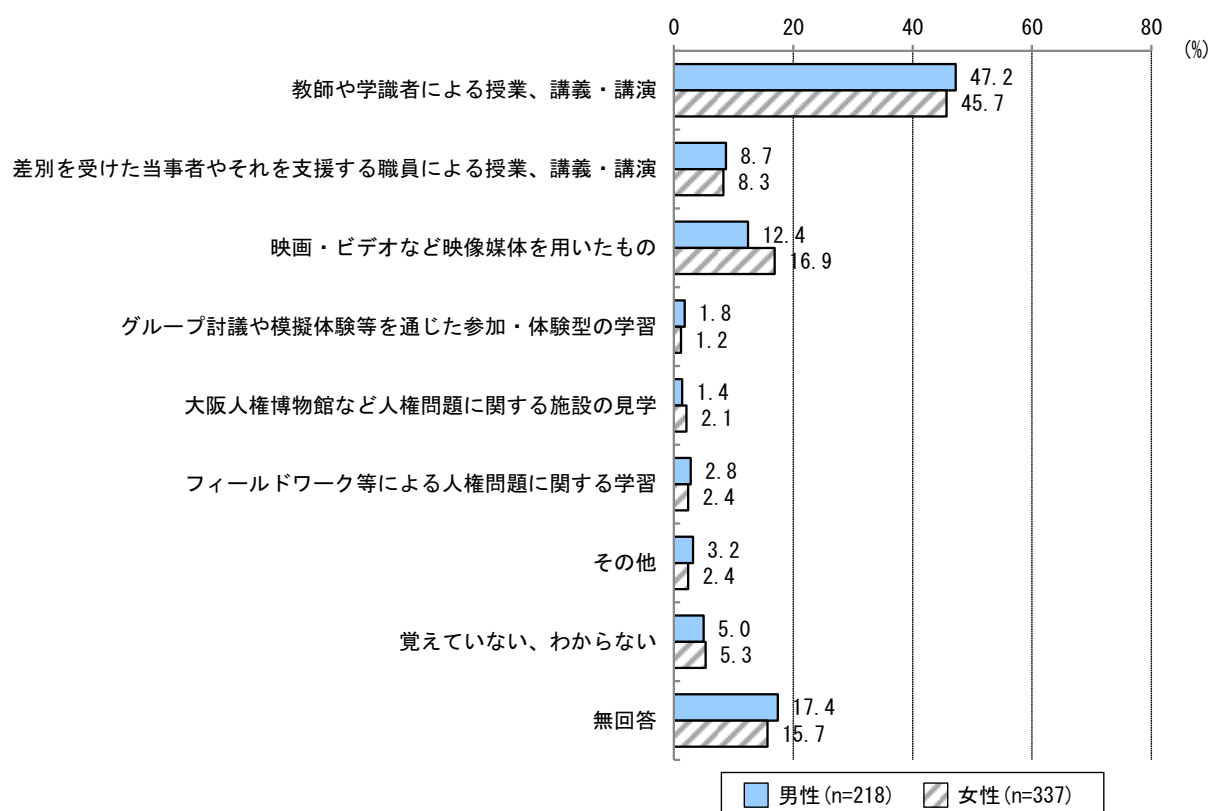


人権意識を高めるうえで特に役に立った（いちばん印象に残った）学習経験があると回答した人に、その学習の形式をたずねると、「教師や学識者による授業、講義・講演」が46.4%で最も多く、次いで「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」が15.1%、「差別を受けた当事者やそれを支援する職員による授業、講義・講演」が8.5%となっています。

また、複数回答者の回答を全て有効とした場合でも、単一回答の結果と傾向はほぼ変わりませんが、「教師や学識者による授業、講義・講演」は57.7%、「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」は24.5%、「差別を受けた当事者やそれを支援する職員による授業、講義・講演」は14.6%となっています。

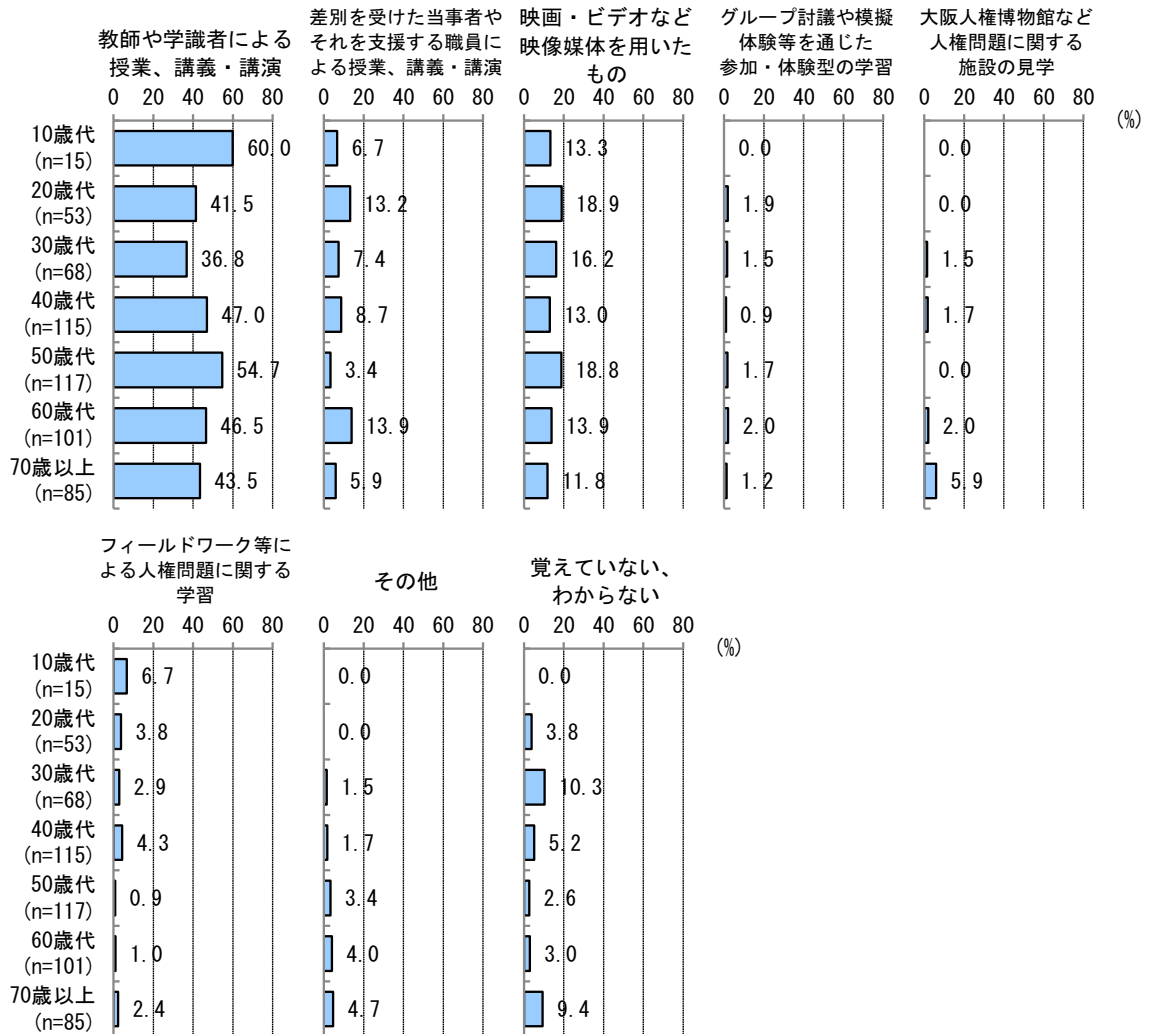
前回調査と比較すると、「教師や学識者による授業、講義・講演」が7.2ポイント高くなっています。（図4-3②）

【図4-3②-1 学習の形式（性別）：単一回答】



性別でみると、男女とも「教師や学識者による授業、講義・講演」が最も多く、男性で47.2%、女性で45.7%となっています。これに次いで、「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」が、男性は12.4%、女性は16.9%で多くなっており、女性のほうが4.5ポイント高い割合になっています。（図4-3②-1）

【図4-3②-2 学習の形式（年代別）：単一回答】



年代別でみると、いずれの年代も「教師や学識者による授業、講義・講演」が最も多く、なかでも50歳代は54.7%と高い割合になっており、30歳代は36.8%と他の年代と比べて低い割合になっています。（図4-3②-2）